



土曜生ごみリサイクル投入とは？

小金井市では市民が10年ほど前から公立学校の給食残渣を処理する生ごみ処理機を利用した生ごみ堆肥づくりに取り組んできました。これは、市内のごみの焼却処理施設が無くなって、他市に焼却処理をお願いする中で、少しでも可燃ごみを減らし、同時に堆肥作りを行おうというものです。「土曜生ごみリサイクル投入」は、この取組みに協力しようと、市民が自主的に始めた活動です。

学校がお休みの土曜日、朝9時から（一中は10時から）1時間、お世話係のボランティア市民が近隣の方の持ち寄る生ごみの投入のお手伝いをしています。



第一小学校

第一中学校

第二中学校

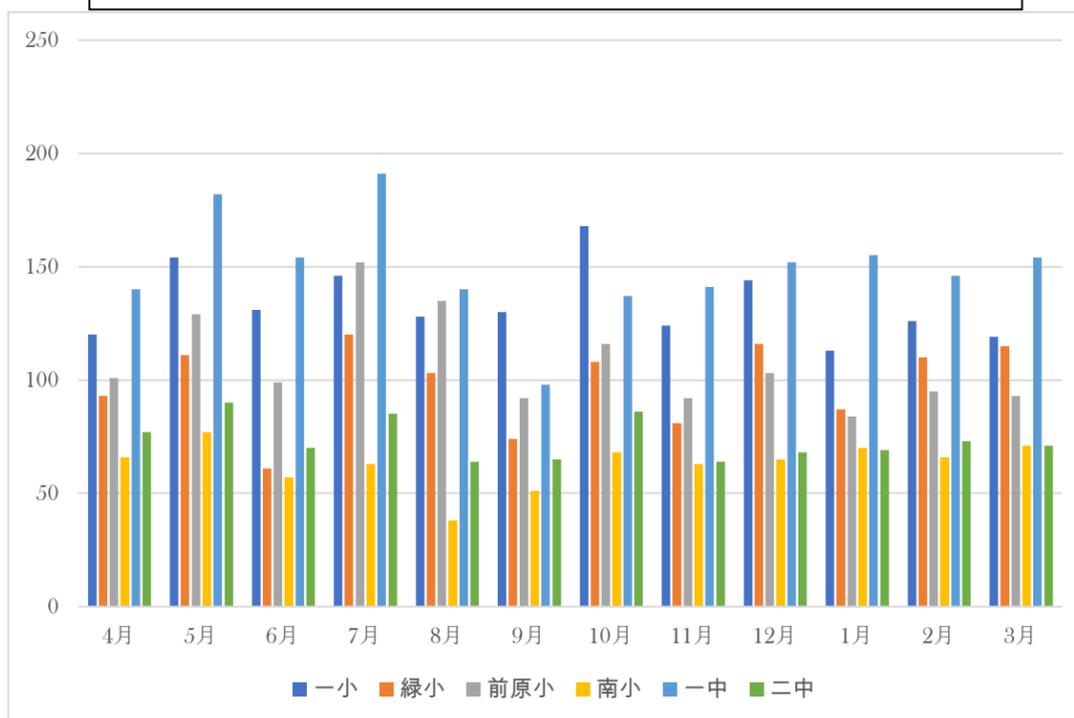


前原小学校

南小学校

緑小学校

2021年度 各学校の土曜日の投入参加者数



実施している学校

- 一小
- 三小 (2021年度はお休み)
- 四小 (2021年度はお休み)
- 前原小
- 南小
- 緑小
- 一中
- 二中
- 南中 (2021年度はお休み)

お近くの学校へどうぞ！

* 四小・南中は、夏休み期間中のみ。

2022年の学校の夏休み中は、土曜日以外に集めている学校もあります。夏休み期間中は、スタンプラリーでゴールすると賞品がもらえます。(対象：中学生以下)

ボランティア市民から一言
前原4丁目 Hさん

週一回、学校までもっていくのはなかなか面倒ですが、燃やす生ごみを減らし、リサイクル堆肥にするのは、地球環境にやさしい活動だと思って、参加しています。

ボランティア市民から一言
中町1丁目 Fさん

定年再雇用で現在もフルタイムで仕事継続していますが、還暦過ぎて会社環境だけではなく地域社会とのつながりの必要性を感じて活動に参加しています。SDGsへの貢献を現場で実践しているのでやりがいがあります。

ボランティア市民から一言
緑町2丁目 Kさん

毎週の生ごみリサイクルの投入には、英国人のご夫妻も熱心に参加され身振り手振りでの思わぬ国際交流の場となっています。また、顔馴染みの方々とちょっとした情報交換はごみ減量と同じくらい有意義なひと時です。